

すきっと

skitto

すきっとした気分で暮らすために

Vol. **14**



【特集】

トキメク

歌舞伎の心、愛にあり。

片岡仁左衛門

歌舞伎俳優

写真は自分の写し絵

織作峰子

写真家 / 大阪芸術大学教授

考え方一つで感動や喜び、
そして、ときめきが

平尾誠二

神戸製鋼ラグビー部総監督

宇宙に輝け！おっちゃんたちの夢
「まいど1号」

東大阪宇宙開発
協同組合

「トキメキ」と「ヒラメキ」を大切に
——チャンスは地道な継続から

中村礼子

北京五輪・競泳銅メダリスト / 東京SCコーチ

定価

本体**476**円+税

道友社 DOYUSHA



おもろい話やな、
これは絶対やりたいな、
という単なるノリで
決めてしまった。

……………枚本

「職人としての自信と誇りが支えたということでしょうか。」
枚本 あまりそこをね、深く技術的なところを検証しながらやる人やと、多分取り掛からなかったですよ。勢い余って「やる」と言うてしまった、言うた以上はやるのか、という感じのほうが強かった

「最初の可能性についてはどう思われましたか。」
今村 今までも、結構壁にぶち当たりながらも「何とかしてやろう」という意地でやってきましたから、やってでけんことはないだろうと思っただけですね。

一匹狼たちのプロジェクト
——どんな思いでこのプロジェクトに参加されたことになったのでしょうか。
今村 僕の場合は、うちの会社のポリシーとして「人のやらないこ

とに挑戦しよう」というのがあるのでね。まあ、うちだけではなく皆さん一匹狼おおかみでやっていますからね、難しいと言われると余計にやってみようというファイトを持っている会社は多いですね。
枚本 私はJAXAから紹介を受けて参加することになったんです

が、おもろい話やな、これは絶対やりたいな、という単なるノリで決めてしまったんです。もともと日本一だとかそういうことが好きですからね。人工衛星の知識なんて全くなかったんですがね。
今村 今回かかわった企業で、衛星とか宇宙ビジネスにかかわっているような会社は一社もなかったですね。

ですね。それが理路整然と、衛星の場合はこんな技術が必要でこうならないといけない、というように細かいところまで考えたら、多分できなかったでしょうね。

経験の力



「まいど1号」のメインミッションは雲観測。世界で初めて衛星からの雷観測を実施した (写真提供=SOHLA)

東大阪宇宙開発協同組合(SOHLA)

2002年、中小企業が多く、長引く不況で活力を失いつつある東大阪工業地帯の経済振興策として、宇宙航空産業を地場産業に育てるための共同研究開発を行うために設立された。略称 SOHLA (Space Oriented HIGASHIOSAKA Leading Association)。http://www.sohla.com/

まいど1号

「まいど1号」(開発コード“SOHLA-1”)は、2003年、独立行政法人新エネルギー・産業技術開発機構からの委託事業としてスタート。汎用小型衛星 PETSAT のプロト事業として、衛星として機能するために必要な基幹機器(通信機器、電源機器など)の製造技術確立のための技術実証実験衛星として計画された。JAXA(宇宙航空研究開発機構)からの技術協力・支援のもと、東大阪市の中小企業を中心に大阪府立大学、大阪大学、龍谷大学と共に2007年末まで研究を重ねて完成した。想定ミッションは雷雲観測で、“SOHLA-1”にはそのために必要なセンサー類のテストモデルが搭載されている。08年8月に衛星本体が完成。09年1月23日、H-IIA ロケット15号機に搭載され打ち上げ、軌道投入に成功する。



搭載した小型カメラで撮影した写真。記念プレートと地球がきれいに写っている (写真提供=JAXA, SOHLA)